

頑張り管理職 No.3 目次



要旨

地域医療介護連携に不可欠なマネジメントの実践知識の習得を目的として、目標から展開した各職種のマネジメント体制を組み込んだ新たな地域連携体制の構築に関して解説しました。尚、今回解説したマネジメント体制を院内で機能させれば、業務の効率化が図れることになります。

マネジメントの捉え方 [1.50~]

栄養ケアマネジメント、リハビリマネジメントなどの捉え方に温度差があることと、管理とマネジメントの捉え方が明確でないことの現状

農耕民族と狩猟民族 [2.40~]

制度改革に対応していくためには、「勤勉な狩猟民族」であることを説明

栄養ケアマネジメント [5.40~]

栄養ケアマネジメントは、退院後の関係者を適切に支援すること

リハビリマネジメント [8.20~]

リハビリマネジメントは、退院後の関係者が実施する訓練リハビリと、生活リハビリに関して、適切に支援すること

服薬マネジメント [10.40~]

退院後にかかりつけ薬剤師が行う関係者への適切な支援を行うことが、服薬マネジメントである。

療養生活マネジメント [13.00~]

看護マネジメントを網羅した退院後の療養生活の維持を目的として、関係者を支援することが療養生活マネジメントであるので、各病棟の看護師が取り組むトータルコーディネーターが重要となる。